

福祉サービス第三者評価結果の公表ガイドライン

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 未来

② 施設・事業所情報

名称：皆生第二クローバー保育園	種別：企業主導型保育所
代表者氏名：園長 須藤 敬子	定員（利用人数）：126名（90名）
所在地：鳥取県米子市皆生温泉2丁目14-13	
TEL：0859-57-7948	ホームページ： https://clover-hoikuen.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2018年3月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社クローバーホールディングス	
職員数	常勤職員： 18名 非常勤職員 13名
専門職員	保育士 10名 看護師 1名 保育士 8名
	栄養士 1名 調理員 2名 子育て支援員 3名
	子育て支援員 4名 調理員 1名
施設・設備 の概要	保育室（5）乳児室（1）調乳室（1）（設備等）冷暖房・床暖房
	病後児室（1）遊戯室・調理室

② 理念・基本方針

<保育理念>好きなことをもっと好きになれるよう自分らしさを大切にのびのびと生活する

<保育方針>・四季を感じながら、色々な体験をしていく。

- ・好きなことがもっと好きに、楽しくなるように個性を大切にする。
- ・いろいろな人と関わる中で、心の育ちを大切にする。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

子ども達の好きな事や興味のあることを大切に、好奇心、探究心がより広がるよう日々、一緒に楽しむことを大切にしている。体を動かすことが好きなので、プレイルームを活用し、様々な体の動きを経験できるような時間を作り、子どもたちが自ら「やりたい」と思える環境づくりをしている。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 3年 10月 31日（契約日） ～
令和 4年 1月 28日	令和 4年 4月 28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（令和 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点.

1. 当園は企業主導型保育園であり、事業所に勤務する従業員が働きながら子育てしやすい環境を整え、離職の防止、女性の活躍、就労の継続等を推進するよう支援している。
2. 国、県、市、福祉医療機構、民間研究機関、同業種上場企業等の公表資料を収集・分析し、幅広い視点で動向の把握に努め、経営に反映させている。
3. グループのホームページに企業主導型保育園の入園申し込みフォームを設置し、利便性の向上を図っている。IR等の項目も設定している。
4. グループとして計画的に第三者評価を受審しており、組織全体の保育の質の向上に向けた取り組みに意欲的である。
5. グループが外部研修のスケジュールを立て、各園の職員が計画的に出席している。参加者は報告書を提出するなど、その学びを検証する体制をとっている。
6. 全国保育士協会の補助金等を活用し、保育支援員としてクラスを補助しながら、保育士等の資格取得支援を実施し、人材育成に努めている。
7. 芋ほり、稲刈り、地域にある施設でサッカー教室・スポーツクラブの参加等実施し、園活動の幅を広げている。
8. 園は保護者等に向けて SNS 等を活用し、保育の様子を幅広く触れる機会をつくっている。また、玄関で行事の様子を伝えるための写真掲示など工夫している。
9. 園だより、クラスだより、保健だより、給食だよりを発行し、ドキュメンテーションを玄関に掲示するなどして、園の様子や子育て情報を伝えている。
10. 災害時の訓練を毎月実施し、総合的に避難体制を整えている。備蓄として、アレルギー対応の非常食（米飯・粥・スープ・お菓子）や食器類、飲料水等を準備している。また、非常階段を整備している。

◇期待できる点

1. 年2回幹部職員は全職員との面談を行い、職場環境や職員の意向把握に努めている。
2. コロナ禍で県からの情報をうけ、子どもの園内活動の感染対策、行事の見直し、保護者や職員に対する精神的サポートをしている。
3. 園庭はないが、近くの公園を代替え遊技場として行政に届けている。また、近くに海岸もあり、周辺のお散歩マップを作成し、交通ルールを学びながら外遊びのできる環境を生かしている。遠出は園バスを利用し、年齢ごとで遠足や遊びに出かけている。

◇改善を求められる点

1. 幹部職員が精力的に個人面談を実施しているが、今後は個々の職員の目標の取組について考える機会とし、スキルアップになることを期待する。
2. コロナ禍により、近隣の老人施設へお便りや作品を送るなど、つながりを持っているが、地域との交流は出来ていない。今後は可能な範囲で地域との連携を深めてほしい。
3. 年2回保護者アンケートを実施し、意向把握に努めているが、保護者が意見・相談を述べやすい場所や時間帯の検討、意見箱の設置場所を工夫し、保護者への周知を図って欲しい。
4. ホームページ上での情報公開において、運営や経営面など幅広く行っていく予定である。さらに、視覚的に保育の様子が分かるよう、工夫を望む。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

これまで取り組んできたこと、自己評価よりも高評価をいただき、大変うれしく思います。今回の評価を受け、園庭が小さいため、近隣の公園の存在や海岸沿いへの散歩等について、入園前の説明や見学で伝えているが、伝わり切れていないことに気づくことができました。普段の保育の様子をより分かりやすく、伝わるように工夫していきたいと思います。また、新型コロナウイルス感染症が流行する中、様々な保育への工夫や換気・消毒を徹底し、地域交流の幅を可能な限りの上、広げられるよう検討していきたいと思います。今回、評価していただいたことを踏まえ、今後も保育の質を高められるよう、職員同士しっかりと連携を図り、取り組んでいきたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

第三者評価結果

※すべての評価細目（45項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> 会社のホームページには理念・基本方針・保育目標を分かりやすく明示している。 職員へは年度初めや年度途中で理念や方針についてミーティング等で周知している。また、保護者に向けて、入園前の説明の際、園のしおりや重要事項説明書を用いて説明している。		

I-2 経営状況の把握

		評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<コメント> 国、県、市、福祉医療機構、民間研究機関、同業種上場企業等の公表資料を収集・分析し、幅広い視点で動向の把握に努め、経営に反映させている。		

社内においては、役員や幹部職員により定期的に全職員の面談を実施し、現場の環境把握に努め、経営会議で情報共有を図っている。		
本部は、予実管理表、園児推移表等を作成し、定期的に状況把握や分析を行っている。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<p><コメント></p> <p>財務会計・労務管理・内部統制については、過年度に監査法人等専門機関により土台構築を図っている。グループウェア導入により、全園と本社を繋ぐクラウド上での情報共有環境を整備し、稟議等の業務フローや情報共有の効率化、透明性の確保に努めている。</p> <p>クラウド型電子契約システム（ホームズクラウド）を導入し、ホームページ上にも示している。過年度と比較して業務効率化に向け定着してきているが、職員への周知が課題である。</p>		

I-3 事業計画の策定

		評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<p><コメント></p> <p>本社として、3年～5年間の中期経営計画及び収支計画を策定している。取締役会等により定性・定量的に評価するよう努めている。さらに、見直しを期待する。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<p><コメント></p> <p>保育園の新規開設や人材確保に向けた計画、並びに人員配置や園児受け入れ計画を策定し、毎月取締役会と経営会議において情報共有し、具体的に取り組んでいる。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p><コメント></p> <p>取締役会と経営会議において意見を出し合い、評価・見直しを行い、改善できるよう努めている。より多くの職員の意見が反映できるようさらに工夫を期待する。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
<p><コメント></p> <p>入園前説明会にて、丁寧に説明している。また、分からないことや疑問点についてはその都度対応している。コロナ禍の状況下、さらに保護者への周知の方法を検討してほしい。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		

8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p><コメント> PDCA サイクルに基づき改善へ繋げられるよう努めているが、十分とは言えない。グループの保育園として計画的に第三者評価を受審しており、本園は初めての受審である。園として組織の質の向上に向けた取り組みに期待する。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p><コメント> 職員間で自己評価や日々の課題を共有し、話し合いの場を設けている。疑問点や取組み課題を改善できるよう努めているが、さらに、計画的に推進できることを期待する。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p><コメント> 役割・責任を表明し、様々な情報を全て報告・連絡するよう全職員へ周知する一方、園長としての的確な判断を行い、職員へ指示ができるよう努めている。また、些細な事でも話しやすいよう、声掛けや雰囲気づくりに努めている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p><コメント> 児童育成協会主催の研修や、グループ主催の施設長研修において様々な研修に参加し、資質向上や園長としての責務等の心構えを身に付けるよう努力している。園内では伝達研修を行っている。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育所の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b
<p><コメント> 保育指針を基に保育の内容や指導案を共に考え、指導を行い、職員一人ひとりの保育の質の向上へつながるよう努めているが、さらなる努力を期待する。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<p><コメント> 業務上や環境及び設備など気付いたことや疑問点は、その都度職員と検討し、改善に取り組んでいる。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
<p><コメント></p> <p>グループとして外部研修のスケジュールを立て、各園の職員が計画的に参加している。参加報告書を提出し、その学びを検証する体制をとっている。</p> <p>全国保育士協会の補助金等を活用し、保育支援員としてクラスを補助しながら、保育士等の資格取得支援を実施し、人材育成に努めている。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<p><コメント></p> <p>評価基準に基づき職員一人ひとりの自己評価や、意向・意見の聞き取りを行い、人事の決定をしている。総合的・体系的な評価制度の確立については今後の課題である。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a
<p><コメント></p> <p>年2回定期的に幹部職員との面談を行い、職場環境や職員の意向把握に努めている。また、一人ひとりの特徴や個性を把握し、働きやすい職場環境になるよう配慮している。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>年2回、幹部職員が個人面談を実施しているが、職員一人ひとりが目標を明確に掲げていない。今後は目標の取組についても考える機会を設けていき、スキルアップになることを期待する。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<p><コメント></p> <p>保育方針や目標に基づき、期ごとに評価・反省を行い、見直しを行っている。さらに、全職員がPDCAサイクルを意識した研修が行われることを期待する。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
<p><コメント></p> <p>外部研修の知らせを全職員へ掲示し、個別にも薦め、参加ができるよう環境を整えている。また、経験年数に対しての知識・スキルを身に付けることができるよう、指導や育成に努めているが、十分ではない。</p>		

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<p><コメント></p> <p>実習生受け入れに関するマニュアルはあるが、実習の依頼はないのが現状である。実習のしおりを作成し、受入フロー、実習目標の共有及び振り返りについての流れを文書化し、さらに体系的なプログラムになるよう検討中である。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>グループとして、ホームページに企業主導型保育園の入園申し込みフォームを設置し、利便性の向上を図っている。IR等の項目も設定し、今後は情報公開を行っていく予定がある。園は、保護者等に向けてSNS等を活用し、保育の様子を幅広く触れる機会をつくっている。また、園見学や公開保育等の積極的な実施、玄関で行事の様子を伝えるための写真掲示などにも努めている。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<p><コメント></p> <p>事務・経理・取引等において、法人本部と各園で棲み分けをしている。小口現金管理は基本的に各園で行い、本部が最終チェックする。また、小口現金予算の範囲を超えるものはグループウェア上で稟議をかけ、透明性の高い経営・運営を行っている。また前期より承認経路をスリム化し、処理の迅速化を図っている。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>コロナ禍により、地域との交流は積極的には実施していないが、地域に出かけ、芋ほり、稲刈り、地域にある施設でサッカー教室・スポーツクラブの参加等実施している。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	b
<p><コメント></p> <p>ボランティア受け入れマニュアルは整備しているが、実施はない。依頼があった場合はボランティアの意向を確認し、受け入れ準備はしている。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		

25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
<p><コメント></p> <p>米子市にある関係機関と連携を図り、気になる子どもに対し発達支援をしている。また、オープンスクールの呼びかけやワクチン接種の情報など、連携を図っているが、さらに幅広い連携を望む。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	c
<p><コメント></p> <p>保育所のスペースを活用して地域の保護者や子どもとの交流、生活に役立つ講演会や研修会等の開催は出来ているとは言えない。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
<p><コメント></p> <p>地域の福祉ニーズに基づく事業・活動は実施していない。地域の民生委員等との連携が実施できない状況である。今後に期待する。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>丁寧な保育（言葉、関わり等）の実施に努め、子ども一人ひとりを大切に、愛情を持って接している。子どもの人権について、保育目標や実施計画に掲げている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>子どものプライバシー保護について、規定・マニュアル等を整備している。職員は人権研修に参加し、保育に活かしている。不適切な事案が発生した場合の対応等も明示している。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
<p><コメント></p> <p>ホームページで情報を発信している。また、見学希望者に対して、丁寧な説明を実施しているが、コロナ禍で園内の見学ができない。</p>		

31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<p><コメント> 保育の開始・変更時には保護者等に理解しやすいように資料を用いて説明している。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p><コメント> 保育所等の変更時は面談シートを用いて対応している。保育の継続性に配慮した引継ぎ文書はない。保育所利用終了後においても引き続き利用できるよう工夫を望む。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<p><コメント> 年2回のアンケート調査を行っている。コロナ禍で懇談会は実施できていないが、書面で子どもの様子を知らせ、事前に聞き取った質問に応える形で保護者の理解を得ている。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p><コメント> 相談・苦情の体制を整備している。苦情を受け付けた場合は、速やかに解決に向けた改善策を検討している。連絡ノートで全職員に周知を図っているが、保護者へは十分伝えきれていない。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
<p><コメント> 個別の相談にもその都度対応している。意見箱の設置場所の工夫や、保護者が意見・相談を述べやすい場所や時間帯の検討をし、保護者への周知をさらに勧めて欲しい。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<p><コメント> 保護者からの相談や意見については、日々の連絡ノートに記載し、口頭でも説明等を行っている。苦情解決についての研修に園長が参加し、全職員へ周知を図っている。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<p><コメント> リスクマネジメントマニュアルを整備している。事故発生時には主担任が中心となり速やかに検討し、安全対策に取り組んでいる。日頃より安全安心な環境の保育を目指し、ヒヤリハットの活用、職員間で意見交換している。事故防止対策を見直し、組織的な取組を検討してはどうか。</p>		

38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p><コメント> マチコミや玄関の掲示により、保護者に感染症予防の情報提供をしている。また、職員にも感染症予防・発生時の対応を周知徹底している。コロナ禍で県からの情報をうけ、園内の子どもの感染対策、行事の検討や保護者や職員に対する精神的サポートをしている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<p><コメント> 災害時の対応体制が決められ、月1回の避難訓練や、消防署職員を交えた総合的な訓練（消火訓練・通報訓練）を行っている。災害時の備蓄の見直しも適宜行っている。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a
<p>保育について年齢ごとの標準的な保育実施方法を文書化し、適切に実施されている。職員へ周知も徹底している。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p><コメント> 実施方法は評価・反省で終わることが多く、見直し、改善につながる仕組みは十分でない。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	b
<p><コメント> 適切なアセスメントにより指導計画は策定されている。支援困難ケースについては検討している。検討時は地域相談員、様々な職種の関係職員の参加や合議、保護者の意向を確認している。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
<p><コメント> 年間・月間・週間に沿った年齢別計画があり、日々の実施記録をしている。個別指導計画の評価は定期的に行われているが、十分でない。</p>		
aⅢ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	b
<p><コメント> 統一された様式に基づき、計画に沿って保育の実施・記録が適切に行われている。職員間で</p>		

検討し、情報を共有している。		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<コメント> 職員は、個人情報保護規定等を理解し、遵守している。記録資料は鍵付きの書庫に保管している。		

第三者評価結果(内容評価 保育所)

※すべての評価細目(20項目)について、判断基準(a・b・cの3段階)に基づいた評価結果を表示する。※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

A-1 保育内容

		評価結果
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b
<コメント> 全体的な年間計画を、保育理念・保育方針・保育目標に基づいて年齢別に作成し、それを元に週間指導計画を作成している。PDCAサイクルを心がけ、評価と反省を行い、次の作成に活かしているが、まだ十分とは言えない。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b
<コメント> 園内は、室温・湿度・換気を定期的を確認し、調整している。一人ひとりがくつろぎ、落ち着ける空間づくりを心掛けている。園庭はないが、近くに複数の公園や海岸があり、交通ルールを学びながら散歩し、自然に触れながら外遊びができる環境である。		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<コメント> 子ども一人ひとりを尊重し、丁寧な保育を行っている。せかす言葉や制止させる言葉を不用意に使わないようにし、わかりやすい言葉遣いで保育を行っている。		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
<コメント> 一人ひとりの発達状況を把握し、言葉がけや視覚支援を工夫し、身の回りのことが自分でできるよう環境の整備、援助を行っている。		

A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b
<p><コメント></p> <p>子どもが自ら遊びを見つけて活動できるよう、落ち着いた空間・雰囲気づくりを行っている。友達との関わりを見守り、必要に応じて仲立ちをしている。コロナ禍のため、読み聞かせや合唱、楽器演奏などは控えている。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント></p> <p>0歳児の時に愛着関係をしっかりと築き、安心して過ごせる環境を作っている。保育士は、発達過程を理解し、一人ひとりに合った関わりや家庭との密な連携を図っている。保護者への支援を適切に行い、共に子どもの成長を喜びあえるように努めている。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント></p> <p>一人ひとりの気持ちを尊重しながら、安心して自発的な活動ができるよう保育士が関わっている。少しずつ友達との関わりが増えていく過程で、集団で過ごす楽しさを味わえるよう支援している。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント></p> <p>それぞれの年齢にあった集団生活が行われている。一日の流れの中で、友達と集団遊びを楽しむ時間や、一人で集中して過ごす時間があり、自分で考えて行動する力が身につくよう支援している。思いやりや自己表現等の力が養えるよう努めている。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント></p> <p>現在障害のある子どもはいないが、気になる子どもに対しては、日常を記録に残して全職員が周知し、適切な支援を行っている。また、保護者との密な連携を図り、家庭と園と双方の様子を伝えあっている。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント></p> <p>保育時間は子ども一人ひとり違うが、開園から閉園まで安心して1日過ごし、充実感を味わえるよう工夫している。18時以降は合同クラスで保育することや、感染症が流行る時期は合同になる時間を保護者に伝え、理解を得るようにしている。18時以降の補食は提供していない。</p>		

A11	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<p><コメント> 園バスで小学校を見に行ったり、保護者と共に小学校オープンスクールに行った時の話をクラスで話して、小学校への期待をもてるような取り組みをしている。保護者へ小学校に向けての助言を伝えている。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A12	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<p><コメント> 全職員が各種健康マニュアルを周知し、命を預かっている責任感をもち健康管理に努めている。毎朝、看護師が健康観察の巡回を行っている。目視による午睡時のSIDSチェックを徹底し、保護者へも仰向けで寝ることを勧めている。看護師が毎月保健だよりを発行し、保護者との連携を図っている。</p>		
A13	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
<p><コメント> 内科健診を年2回、歯科健診を年1回実施している。家庭での生活に生かされるよう、保護者に結果を伝えている。</p>		
A14	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<p><コメント> アレルギー診断書による医師からの指示を全職員が周知し、適切に除去を行っている。また、アレルギー疾患や慢性疾患について職員で研修を実施している。</p>		
A-1-(4) 食事		
A15	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<p><コメント> 食事の前に献立を伝え、使われている食材について話すなどし、給食への期待が持てるよう工夫している。季節毎の野菜を育てるなどの取り組みも行っている。年齢に合わせて形状を工夫し、個々に合わせた声掛けを行い、食べる楽しさを味わえるように努めている。</p>		
A16	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<p><コメント> 昼食は小麦・卵・牛乳を使用しないメニューとなっており、おやつとして、牛乳を提供している。コロナ禍で、対面や大きな声で話しながらの食事にならないよう、パーテーションを使用するなど工夫し、落ち着いた雰囲気の中で食事を楽しんでいる。栄養士が各クラスを巡回し、子どもたちと話す機会を設け、メニューに反映させている。</p>		

A-2 子育て支援

		評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A17	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>コロナ禍のため、送迎は玄関対応としているが、短時間でも担任が笑顔で対応することを心がけ、保護者の信頼が得られるよう努めている。連絡ノートを通して園での様子を伝え、保護者の心配事や疑問に丁寧に応えるようにしている。必要に応じて随時話し合いの場を設けている。例年は個人懇談を年2回計画しているが、今年は電話や書面になっている。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A18	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>コロナ禍において、以前より関わりや話す機会が減っているが、送迎時や連絡ノートを活用し、より丁寧に対応するようにしている。園だより、クラスだより、保健だより、給食だよりを発行し、ドキュメンテーションを玄関に掲示するなどして、園の様子や子育て情報を伝えている。</p>		
A19	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<p><コメント></p> <p>虐待防止マニュアルを全職員が周知している。虐待等の疑いのある子どもについて様々な視点から気を配り、気になることを日々記録に残している。また、児童相談所と連携し、報告や相談をしている。</p>		

A-3 保育の質の向上

		評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A20	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
<p><コメント></p> <p>年1回の自己評価、年2回の幹部職員の面談が行われている。PDCAサイクルに取り組んでいるが、まだ、十分とは言えない。</p>		